

盲導犬使用者、転落死

JR 蕨駅ホームで（埼玉）

埼玉県蕨市の JR 京浜東北線蕨駅で 1 月 14 日、盲導犬を連れた男性がホームから転落し、電車にはねられた。男性は頭や上半身などを打ち病院に搬送されたが、約 5 時間後に死亡が確認された。

県警蕨署や JR 東日本大宮支社によると、死亡したのは同県川口市のマッサージ師の男性（63）。蕨駅には点字ブロックはあるが、ホームドアは設置されていなかった。

電車搭載のカメラに、盲導犬を連れて立っていた男性が、右足から踏み出してホームから落ちる様子が映っていた。運転士が転落に気付いて急ブレーキをかけたが、間に合わなかった。盲導犬は保護された。

昨年 8 月に東京メトロ青山一丁目駅で、同 10 月には近鉄大阪線河内国分駅でそれぞれ男性が死亡するなど、視覚障害者のホーム転落事故が相次いでいる。JR 東日本は一連の事故を受け、2020 年度までに蕨駅を含む京浜東北線大宮―桜木町間の全駅でのホームドア設置を決めていた。

8 月の事故を受け国土交通省は検討会を設け、12 月 22 日に再発防止策を発表。ターミナル駅など約 60 駅で 2020 年度までにホームドアを整備するほか、設置困難な駅では駅員の誘導案内などソフト対策を強化するとしていた。

（福祉新聞・第 2795 号 2017 年 1 月 23 日）